

平成 28 年度安全管理推進大会（那覇地区）が開催されました。

平成 28 年 6 月 7 日、浦添市てだこホールにて、那覇地区における平成 28 年度安全管理推進大会が開催されました。

本大会は 7 月の全国安全週間に先立ち、産業界における自主的な労働災害防止活動の推進と一般の安全意識の高揚、安全活動の定着を図ることを目的とするもので、那覇地区の会社及び関係団体が多数参加しました。

大会では、那覇労働基準監督署徳永景太安全衛生課長が、第 89 回全国安全週間の趣旨や管内の災害発生状況について説明を行いました。その後、QCサークル沖縄支部金城悟幹事長が、「QCサークル活動体験事例発表 テーマ:試験準備時間の短縮」と題し、QCサークル活動に関する事例発表を行いました。また、中央労働災害防止協会九州安全衛生サービスセンター渡邊康生氏が、「ヒューマンエラーを労働災害へ進行させないために」と題し、講演を行いました。

去る平成 27 年の沖縄県内の労働災害による死傷者数は、980 人であり、一昨年からは大幅に減少しました。しかし、依然として高い件数で推移しています。「職場の安全は何よりも優先されること」を参加者全員であらためて確認し、労働者・事業者一体となって職場の「災害ゼロ」を達成するため、更に邁進することが宣言されました。

日 時：平成 27 年 6 月 7 日（火） 14:00 ～ 16:30

場 所：浦添市てだこホール

共催団体：一般社団法人 沖縄労働基準協会那覇支部

建設業労働災害防止協会沖縄県支部／那覇分会／浦添・西原分会／南部分会

陸上貨物運送事業労働災害防止協会沖縄県支部

林業・木材製造業労働災害防止協会沖縄県支部

港湾貨物運送事業労働災害防止協会沖縄県支部

公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会沖縄県支部

独立行政法人 労働者健康安全機構 沖縄産業保健総合支援センター

後 援：那覇労働基準監督署



